

平成 30 年 1 月総務企画委員会 議事概要

H30.1.29 作成

日 時：平成 30 年 1 月 23 日（火） 18：00～19：40

会 場：建築士会会議室

出 席：

（業務執行理事兼委員長）芝 京子

（委 員）天神 正志、長田 喜樹、畠 宏好、村島 正章、八重野みどり

オブザーバー：須藤専務理事

<確認事項>

1 前回(12/19)議事録の確認【資料 1】

- ・異議なく承認

<協議事項>

1 2/25 合格者セミナー・交付式について【資料 2】

- ・委員より、1/18 までの申込状況では昨年を大幅に上回る参加者が見込まれること、受付体制や免許証交付の手順を詰める必要のあることを説明。

（専務）・入会促進のためには、セミナー+交付式+祝賀会の 3 本立ての中でも、祝賀会の場での働きかけが重要。会長挨拶でも強力にアピールしてほしいし、一部・二部に時間がかかって祝賀会の時間が減ってしまうのは問題。最低 1 時間以上は確保したいところ。

（委員）・交付式は文面や氏名読み上げを省いて手渡しのみとするなどの時間短縮を図らないと、100 数十名に 1 時間以内で交付するのは難しい。

- ・会長とのツーショット写真撮影を希望する参加者も多いが、会長の了解をえて、祝賀会の席で随時やってもらってはどうか。

（委員長）・当日のドタ参が発生する可能性は？

（専務）・例年数名は発生する。第 1 部のセミナー開始前でのエントリーであれば認めているが、それ以降では免許証交付という大事な手続きのためお断りする。

（委員長）・受付が大変そうだが、総務企画委員会としてどの程度の人数で応援しなければならないか。

（委員）・青年委員会のシナリオでは、二人だけ名前が記載されているが、2 組以上の受付チームを用意しないと窓口で長蛇の列が発生するだろう。

（委員長）・次回委員会が 2/20 と、セミナーの直前なので、そこで最終的に詰めたと思う。

2 平成 30 年度総務企画委員会事業計画・予算案について【資料 3】

- ・委員から事業計画案及び予算案を説明。新規事業である「熱闘甲子園」事業について専務より詳細説明。
 - (委員)・副委員長と担当委員から提案のあった賛助会講習会（横浜港の将来像）は実施時期をいつ頃と想定しているのか。
 - (委員)・講師役の横浜市港湾局職員とのつながりをやっているが、秋口・10 月頃を想定していると思う。
 - (専務)・建築甲子園の応募資格は工業高校・高専の学生に限定されているが、神奈川県に限らず大都市圏の都府県士会では応募が低調。大学の建築学科に入学する学生には、普通高校出身者も多いはず。建築に関心のある高校生に広く門戸を開放してはどうかと 1/14 の連合会事務局会議で提案したところだ。
 - ・連合会として積極的に認知はしないが、独自に動く分は支障ないとのことだった。他県の士会でも関心を示しているところがあり、「熱闘甲子園」として新年度に取り組んでみたい。
 - ・コンペへの応募と抱き合わせで、普通高校生に対するインターンシップ、出前講座等の事業も考えられる。高校生の職業体験という事で、県立普通高校でもインターンシップに取り組んでいるが、受け手の事業所が少ないのが実情。内々に打診したところ高い関心を示している。さらに試験監理補助員として、建築に関心のある高校生の確保も期待できるのではと考えている。
 - ・インターンシップについては、既にある事務所から「受け入れ可」との申し出をいただいた。横浜市の幹部も好意的な反応だった。
- (委員長)・確かに普通高校生にも応募のチャンスがあつていいかもしれない。
- (委員)・コンペの中身は？ 建築系の授業を受けていない普通高校生にも応募可能な内容なのか。
- (委員)・コンセプトだけでなく、平面立面やパース等の作図が必要だ。
- (委員)・アイデアを募るものであれば、普通高校生にも参加できそう。
- (委員)・意外に受けるのではないか。面白そうだ。
- (委員)・賞を、アイデア部門と技術部門に分けてみてはどうか。
 - ・専門学校も普通高校出身者は多い。専門学校学生向けのコンペには工業高校出身
- (専務)・いずれにしても、きちんと理事会に説明し、承認を得て実施したい。特に 1 級学科試験の試験監理補助員の確保は、近年、ますます困難になってきており、この事業を契機に打開したい。
 - ・試験監理補助員の経験は、自分が試験を受ける際に大いに役立ったとの評価もある。
- (委員)・高校も専門学校も年間スケジュールは前年度の 12 月頃には確定している。1 級の日程は期末試験とバッティングするので、もともと参加が難しい。
 - ・建築甲子園の募集ポスターとあわせて、監理補助員アルバイト募集を掲出するなど、の工夫があつていいかも。
- (委員)・予算案の表記だが、「委員会費」との項目名ではわかりにくい。実態が、ほとんど委員交通費であるならば、交通費と明記した方が誤解を招かない。

(委員長)・入会案内活動に一定以上の時間従事された会員には、交通費を支払うとの案に賛成だ。

(専務)・総務企画委員会の活動費として計上するよりも、登録申請受付事務とセットになった活動ととらえれば、事務局経費の中で支出を検討する方がいいかもしれない。

<報告事項>

1 平成29年度新規合格者入会案内活動の結果について【資料4】

・委員より、12/11～1/18までの間の入会案内活動の実績を説明。

(専務)・「お試し会員」の数は増えたが、期間終了時の3月末時点で入会働きかけの活動を行うことが不可欠。

(委員長)・新規入会促進、退会抑制と合わせて、既退会者の復活にも注力したいところ。3名の復活を目指して頑張っている。

2 その他

(1) 1/18 賀詞交歓会について【資料なし】

(委員)・賀詞交歓会の結果はどうだったか。

(専務)・約130名

(委員)・会場が少々窮屈との声もあったようだが。

(島委員)・こじんまりとまとまった会合との印象で窮屈とは感じなかった。

(2) 派遣委員会の状況

(島委員)・情報広報委員会では、次号のSALONで総務企画委員会の記事を0.5p(賀詞交歓会の報告)掲載することとなった。長田委員にお願いしたいが。

(長田委員)・了解。

<その他>

次回以降の委員会等について

平成30年 1月29日(月) 第361回理事会 15:00～

平成30年 2月20日(火) 2月総務企画委員会 18:00～

平成30年 2月25日(日) 合格者向けセミナー・交付式 11:30～

平成30年 3月20日(火) 3月総務企画委員会 18:00～